

続く五日目の出羽翼との一戦では、立合から真一文字に一気にかけて東土俵に寄り切った。やっとな来の春ノ翔の相撲が見れた一番だった。これで2勝3敗。後半戦の相撲が楽しみになってきた。



出羽翼●(寄り切り)○春ノ翔

先々場所が新大関で10勝1敗の優勝、先場所は9勝2敗で準優勝と好成績をあげ、今場所は綱獲りの場所の佐賀ノ海。しかし、二日目に春ノ翔に苦杯を舐めて黒星を喫し、横綱昇進の為にもう負けられないところ。



英 筏○(寄り切り)●佐賀海

三日目は英筏との対戦。四つの攻防からのど輪に行けない佐賀ノ海。英筏に左を差され、必死に上手投げを打つも最後は西土俵に寄り切られた。前半戦にまさかの2敗。続く四日目は超刃戦。これまでの対戦成績は6勝と圧倒している。両者が仕切りしている。とどろも佐賀は昨日の相撲で膝を怪我したようです。と鹿賀乃戸親方。どこからそんな情報を仕入れたのかは不明だが、それを聞いた超刃の師匠の磯ノ海親方が「佐賀の膝を狙っていい！」と檄を飛ばす。そんな声に動揺したか、立合いに超刃に左を差されるとそのまま正面に寄り切られた。

続く五日目は烏帽子岳が相手。磯ノ海親方が再び「佐賀の膝だ！」と烏帽子に指示を出す。すると佐賀は立合いの攻防から烏帽子に左から攻められ、上手投げを打つも相手を懐に呼び込んでしまい正面土俵に寄り切られた。

「佐賀は二日目から4連敗だよ！」と鹿賀乃戸親方。本当に膝を故障したのかどうかは定かではないが「昔の佐賀に戻っちゃったね！」と磯ノ海親方。確かに、相手に左を差され、何もできずに寄り切られるという以前の佐賀ノ海の相撲に戻ったかのような相撲が続いた。

これで1勝4敗となつて、場所後の横綱昇進は絶望的となつた。それよりもこんな相撲進を見送られて良かったよ。もし昇進していたら、早くも引退して騒がれたらどうかな。と4連敗という考えもなかった結果に肩を落とす錦風親方だった。

今場所、美空富士とともに絶対調なのが関脇千代鈴。先場所は成績次第では大関昇進と言われたが6勝に終わって昇進を見送られた。「今場所こそは！」と春日根親方も気合いが入っていて、初日から連勝と好スタートを切った。

三日目は剛勇山。二日目に春ノ翔に完勝しているだけに侮れない相手。しかし、左からの攻めで寄せつけずに3連勝とした。

四日目は関脇に復帰した大神楽との一番。注目の相撲は大神楽が左を差して寄る体勢に「押せ！押せ！」と磯ノ海親方が声を張り上げる。がもうひとつ寄り身に力がなく、千代を寄り切るも大神楽の廻りも同時に取り直しとなる。取り直しの一番は、大神楽が左を差そうかというところを千代がのど輪で大神楽を一蹴した。

続く五日目は英筏をがっぷり四つから黒房下に危なげなく寄り切った。これで5連勝として美空とともに優勝争いの先頭に立った。今場所、優勝すれば文句なしで大関昇進だろうし、大勝ちでも大関という声が上がってこようというものだ。これまで横綱大関戦に勝っていない千代鈴だけに、後半戦の横綱大関戦が大関昇進の鍵を握ることになるだろう。

平幕では、もう後がない幕尻の龍不動が元気な相撲を見せた。2連勝のあと、三日目に鳥海波、四日目に支那虎に勝って4連勝。このまま連勝を続けるか



龍不動○(寄り切り)●鳥海波



千代鈴○(押し倒し)●大神楽

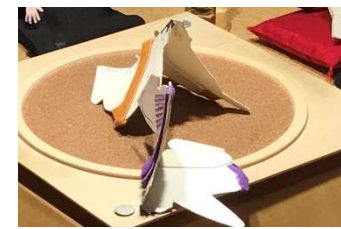
と期待されたが、五日目は惜しくも源氏丸に敗れ5連勝はならなかった。龍不動ファンはも力に変えて残り6日間の奮闘に期待したいところ。

五日目を終えて、これからいよいよ後半戦に入っていく。全勝の横綱美空富士、関脇千代鈴、これを1敗で追う横綱若ノ嶋。この中から直接対決で誰が抜け出すのか、あるいはつぶし合う間に平幕力士が白星を重ねていくのか、残り6日間が楽しみになってきた。乞次回の本場所は11月28日開催の予定。乞うご期待あれ。(錦風)

### 十両は暫、勝ノ川が全勝

三日目から五日目が行われ全勝は暫と勝ノ川の2人となった。1敗は雪若丸、黒雲海、葵盛、西神門、初戸、西の富士の6人。

暫は場所前から春日根勢と優勝争いをするだろうと予想された展開通り、五日目に全勝同士で西神門と対戦。これまで幕下での対戦もなく先場所が初顔となった一番では押し倒して西神門が勝つてい



暫 ○(押し倒し)●西神門

る。リベンジを果たすべく気合の入る暫は、先場所同様に西神門が立ち合いから素早くのど輪を差し込む形になり、またもや万事休したかと思つたところ。暫が絶妙なタイミングでこの不意を突かれた。西神門が面食らったか逆転の押し倒しが見事に決まった。

「いやー、あの体勢から返すのはすげえよね、この調子でもし優勝して幕内に入ったら若ノ嶋の土俵入りも麒麟王と2人でお願いな」と早くも太刀持ちと露払いを友砂親方に進言する錦風親方。友砂親方も二つ返事で快諾した。たばかりしながら場所はまた五日目を終わって事を願いたいところ。敗れはしたが西神門は先場所の優勝力士。連覇がかかるだけに後半

の優勝争いを面白くするために、このまま星一つ差をキープしていきたい。

幕下を運よく2場所通過してきた勝ノ川は親方も予想だにできなかった5連勝スタート。昨今の取組では左を差しても前に落ちて負ける相撲が見受けられるが「勝ノ川は差してからも前に落ちることがないよねー」と鹿賀乃戸審判部長と錦風親方も太鼓判。無敗同士の一番となった西の富士戦でも、差してからのそのまま向こう正面まで押し込み寄り切った。阿古耶川の引退で幕下踏み出しから初土俵を踏み今場所までまだ3場所目。この5連勝スタートにも「まずは勝ち越しが目標」と気負いはなさそうだ。



勝ノ川○(寄り切り)●西富士

幕内昇進をかける雪若丸が4勝1敗で順調に五日目を乗り切った。3日間とも左差しから手堅く寄り切る相撲で勝ち越しまであと白星二つとした。「先場所はあと一歩昇進に届かなかつたので絶対に勝ち越す」と意気込みは強い。

東二枚目の黒雲海も入幕に向けて好発進した。五日目の西勢ノ里との一番は共に左を差せない展開だったが、うまく隙をついて押し倒すが今後の幕内入りに向け力ギとなつてくるだろう。

四日目まで勝ちっぱなしだった西の富士は勝ノ川に敗れ初黒星となったが、相撲の旨さやバランスの良さは、さすが春日根親方の力士というところだ。春日根親方もまずは勝ち越しと控えめな発言をしていたようだがこれは問題なくクリアしそうだ。

初戸は五日目剣将に負けはしたものの、親方も納得の4勝1敗で序盤を乗り切った。「初戸はのど輪が引くのかどっかだからなあ」と鹿賀乃戸親方の容赦ない毎度の突っ込み「そんなことないよ」と錦風親方が否定するも、その脇で「確かに」と心の中で呟く呼び出し係の香具山と、勝間田の両親方であった。(勝間田)